

令和5年度

事業報告書

社会福祉法人
田原市社会福祉協議会

目 次 (決算額一覧表)

事業名	頁	支出決算額 (単位: 円)		比較増減
		令和5年度	令和4年度	
◎法人運営				
1 法人運営事業	1	60,831,009	65,771,632	△4,940,623
2 結婚相談事業	5	5,944,194	5,919,000	25,194
3 共同募金配分金事業	6	3,222,169	4,697,688	△1,475,519
◎地域福祉活動				
4 ボランティアセンター運営事業	8	6,482,569	6,225,678	256,891
5 生活ささえあいネット事業	10	8,038,600	8,020,284	18,316
6 地域福祉ネットワーク事業	12	7,650,452	7,700,916	△50,464
7 生活支援体制整備事業	15	12,528,048	12,178,171	349,877
◎福祉サービス利用支援				
8 成年後見センター事業	17	15,272,215	14,212,000	1,060,215
9 日常生活自立支援事業	18	893,911	740,765	153,146
10 資金貸付事業	19	484,065	1,051,673	△567,608
11 心配ごと相談事業	20	1,925,500	1,883,500	42,000
12 障害児相談支援事業	20	0	0	0
13 一般相談支援事業	21	40,000	0	40,000
14 特定相談支援事業	21	20,131,961	16,161,540	3,970,421
15 高齢者支援 (地域包括支援)センター事業	24	41,145,258	41,230,903	△85,645
16 生活困窮者自立相談支援事業	28	25,246,106	21,123,993	4,122,113
17 生活困窮者等就労準備支援事業	29	4,672,926	4,202,038	470,888
18 障害福祉サービス事業	29	8,819,388	9,553,964	△734,576
19 就労移行支援事業	29	18,886,243	19,783,239	△896,996
20 移動支援事業	30	5,027,552	4,725,700	301,852
21 生活介護事業	31	39,926,012	36,689,210	3,236,802
22 日中一時支援事業	31	1,815,297	3,982,636	△2,167,339
◎在宅福祉サービス (介護保険事業等)				
23 居宅介護支援事業	32	62,778,264	60,374,312	2,403,952
24 訪問介護事業	33	33,153,494	31,912,276	1,241,218
25 福祉車両運行サービス事業	33	1,832,985	1,921,066	△88,081
26 配食サービス事業	34	6,123,471	5,325,652	797,819
27 高齢者介護予防事業	35	1,669,615	1,637,372	32,243
◎施設・指定管理				
28 田原福祉センター管理運営事業	35	37,590,018	37,155,080	434,938
28 赤羽根福祉センター管理運営事業	35	20,072,215	18,871,000	1,201,215
事業報告の附属明細書について	37	-	-	-
合 計		452,203,537	443,051,288	9,152,249

本会は、田原市における社会福祉事業その他の社会福祉を目的とする事業の健全な発達及び活動の活性化により、地域福祉の推進を図ることを目的として、次の事業を実施しました。

◎法人運営

1 法人運営事業

令和5年度支出決算額	令和4年度支出決算額	比較増減
60,831,009円	65,771,632円	△4,940,623円

[目的]

社会福祉法第109条に規定する市町村社会福祉協議会として、田原市社会福祉協議会の事業全体の管理、組織運営を適正に行います。

[主な事業内容・実績]

市派遣職員2人、正規・再雇用職員37人、嘱託職員9人、臨時職員36人の計84人（令和6年3月31日現在）により、田原市社会福祉協議会の全事業を実施しました。

- 理事会、評議員会等の開催
- 啓発及び広報活動 広報紙「社協だより」奇数月発行（年6回）
- 法人運営全般に係る財務・人事管理、経理業務
- 職員研修（キャリアパス研修等）の実施
- 福祉関係団体の活動支援
- 第3期基盤強化計画の策定及び推進
- 法人運営に係る企画及び実施
- 福祉バスの実施
- 高齢者世話付住宅への生活援助員派遣
- 社会福祉基金及びボランティア基金の適正管理

決算額は前年度と比較して、職員配置の変更に伴う人件費の減少により減額となりました。

(1) 理事会、評議員会等の開催

次のとおり理事会・評議員会等を開催しました。

ア 理事会

(ア) 第1回理事会 令和5年6月14日 於田原福祉センター
議事

- 第1号議案 評議員候補者の選出について
- 第2号議案 理事及び監事候補者の選出について
- 第3号議案 第三者委員の選任について
- 第4号議案 経理規程の一部改正について
- 第5号議案 定年延長について
- 第6号議案 令和4年度事業報告について
- 第7号議案 令和4年度決算について
- 第8号議案 令和5年度ボランティア活動表彰について

第9号議案 令和5年度定時評議員会（第1回評議員会）の招集について

- (イ) 第1-2回理事会 令和5年6月20日※書面審議
議事
第10号議案 理事候補者の選出について
- (ウ) 第2回理事会 令和5年6月29日 於田原福祉センター
議事
第11号議案 会長の選定について
第12号議案 副会長の選定について
第13号議案 常務理事の選定について
第14号議案 評議員選任・解任委員会運営細則の一部改正について
第15号議案 評議員選任・解任委員の選任について
- (エ) 第3回理事会 令和5年12月13日 於田原福祉センター
議事
第16号議案 常務理事の報酬等及び勤務に関する規程の一部改正について
第17号議案 職員の給与に関する規程の一部改正について
第18号議案 職員就業に関する規則の一部改正について
第19号議案 再雇用職員取扱要綱の一部改正について
第20号議案 補正予算（第1号）について
第21号議案 令和5年度第2回評議員会の招集について
- (オ) 第4回理事会 令和6年3月18日 於田原福祉センター
議事
第22号議案 職員の年次有給休暇等に関する規程の一部改正について
第23号議案 再雇用職員取扱要綱の一部改正について
第24号議案 臨時職員就業に関する規則の一部改正について
第25号議案 第3期基盤強化計画の策定について
第26号議案 令和6年度事業計画について
第27号議案 令和6年度予算について
第28号議案 令和5年度第3回評議員会の招集について
第29号議案 役員等賠償責任保険の加入について

イ 評議員会

- (ア) 令和5年度定時評議員会（第1回評議員会）令和5年6月29日
於田原福祉センター
議事
第1～17号議案 理事及び監事の選任について
第18号議案 令和4年度事業報告について
第19号議案 令和4年度決算について
- (イ) 第2回評議員会 令和5年12月21日 於田原福祉センター
議事

第20号議案 常務理事の報酬等及び勤務に関する規程の一部改正について
 第21号議案 補正予算（第1号）について

(ウ) 第3回評議員会 令和6年3月27日 於田原福祉センター
 議事

第22号議案 第3期基盤強化計画の策定について
 第23号議案 令和6年度事業計画について
 第24号議案 令和6年度予算について

ウ 監査会

第1回監査会 令和5年6月2日 於田原福祉センター
 監査事項

(ア) 令和4年度事業報告について
 (イ) 令和4年度決算について

(2) 啓発及び広報活動

広報紙「社協だより」(年6回・奇数月発行)を校区コミュニティ協議会及び地区自治会の協力を得て配布し、福祉事業の周知啓発と社協事業のPRを行いました。また、ホームページや新たにLINEを活用し、福祉イベントや各地域でのイベント開催案内等の情報を発信しました。

(3) 会員募集

社会福祉協議会の事業について、各方面でご理解をいただけるようPRをしながら会員募集を行いました。また、校区コミュニティ協議会や地区自治会、企業や関係団体の皆さんに特別会員としてご協力をいただきました。

ア 募集実績

会員種別	令和5年度	令和4年度
一般会員 (個人 1口1,000円以上)	392件 (429,860円)	751件 (866,000円)
特別会員 (法人、自治会、団体 1口2,000円以上)	215件 (2,670,016円)	225件 (2,187,823円)
合計	607件 (3,099,876円)	976件 (3,053,823円)

イ 会費使途 (一部)

区分	内容	金額 (円)	割合 (%)
法人運営事業	社協だより (年6回発行) 発行費	1,192,320	45.9
	福祉バス (29人乗、1台) 運行費	1,042,800	40.2
地域福祉ネットワーク事業	サロン活動 (12グループ) 助成	360,000	13.9
合計		2,595,120	100

(4) 福祉のつどい等福祉啓発事業（共同募金配分金を活用）

令和5年11月19日（日）、田原福祉センター・ララグラン・田原文化会館で、「第37回福祉のつどい」を開催しました。「今、つながろう」をテーマに、3会場で様々な催しを実施しました。

田原福祉センターでは、式典において地域福祉に功績のあった個人・団体を顕彰し、感謝の気持ちをお伝えしました。また、ボランティア団体等による活動紹介や体験教室、パネル・働く車の展示、つながるカフェ、eスポーツ体験会、チャリティーバザー、健康チェック、フードドライブ（食品寄付受付）、のんほいパーク認定アーティスト花島愛弥さんのワークショップ&作品展など実施しました。

ララグランでは、ボランティア団体等の活動発表やキッチンカーの販売が行われ、田原文化会館文化ホールでは、田原市地域包括ケアを考える講演会を共同開催し、東北大学加齢医学研究所 教授 川島隆太氏による「大人の脳活 認知症を遠ざける！ 脳が元気になる～あなたの運転寿命を延ばすためには～」と題して講演を行いました。小さなお子さんから高齢者まで多くの方にご来場いただくことができました。

(5) 各種団体支援助成

各団体の自立的な活動を支援するとともに、事業費の助成を行いました。

ア 事務局支援

次の団体の事務局として、会議資料の作成、市補助金申請等の事務支援を行いました。

民生児童委員協議会、遺族連合会、身体障害者福祉協会、人権擁護委員会、保護司会、協力雇用主会、更生保護女性会、子ども会連絡協議会、老人クラブ連合会、手をつなぐ育成会、母子寡婦福祉会、ボランティア連絡協議会、あつみNPOネットワーク
--

イ 事業費支援

社会福祉増進の事業を行う団体に、補助金を交付しました。

団体名	補助金額（円）	
	令和5年度	令和4年度
田原市仏教会 （花まつり、慰霊祭等）	719,130	719,130
六連神社奉賛会（慰霊祭）	14,070	14,070
合計	733,200	733,200

(6) シルバー見守り事業(市受託事業)

高齢者世話付住宅(久保川住宅)に生活援助員を派遣し、入居高齢者の生活相談等の業務を通じて自立的生活の指導・啓発を行うとともに、積極的に外部の生きがいづくり活動の場への参加を促すことに努めました。

区分	令和5年度	令和4年度
年間訪問件数（件）	49	27
相談室延利用人数（人）	732	770

(7) 福祉バス

地域のひとり暮らし高齢者のうち、自動車の運転ができないことで買い物に困っている方を対象に実施してきた『買い物支援バス』は、高齢者サロン・障害者・コミュニティ関係者等の社会参加や視察研修など多様なニーズに活用する『福祉バス』として利用の幅を広げてきました。

また、多くの団体が社協特別会員として、社協活動への理解と協力を示していただくきっかけとなっています。

区分		令和5年度		令和4年度	
利用目的		開催回数 (回)	延べ参加者数 (人)	開催回数 (回)	延べ参加者数 (人)
買い物 支援	大草	12	127	3	31
	野田	9	127	8	118
	伊良湖	4	83	2	35
	亀山	0	0	2	20
サロン活動		22	301	12	154
高齢者福祉活動		6	95	3	37
コミュニティカフェ		12	79	-	-
視察研修		11	161	1	14
行事・大会・イベント他		6	61	9	78
合計		82	1,034	39	487

2 結婚相談事業(市受託事業)

令和5年度支出決算額	令和4年度支出決算額	比較増減
5,944,194円	5,919,000円	25,194円

[目的]

ふれあい相談センターを開設し、独身男女のふれあいの場等の提供を行い、婚姻率の改善に繋げ、少子化対策に寄与します。

[主な事業内容・実績]

結婚を希望する方の相談対応やお見合いのコーディネート及び立会い、結婚応援講演会、イベントとセミナーを同時開催の婚活パーティー、体験参加型の婚活イベント等の実施により出会いの場を提供しました。

- 開設日 月曜日～日曜日 午前9時から午後5時まで
(毎週水曜日、祝日、12月29日～翌年1月3日は休み)
- 職員体制 相談員2名(嘱託職員)
- 結婚等に関する相談対応
- 婚活イベントの開催
- お見合いのコーディネート及び立会い

(1) 登録者数等の実績

区分		令和5年度	令和4年度
ふれあいカード登録者数(人)※		64	56
ふれあい相談センター 利用実績(件)	来客	222	160
	電話	250	255
	メール等	261	192
	計	733	607
ふれあいイベント延参加者数(人) (開催回数)		64 (3回)	73 (5回)
婚活セミナー延参加者数(人)		62	20
婚活セミナー開催回数(回)		1	1
お見合い件数(件)		10	3
成婚組数(組)		5	3

※ふれあいカード登録者数は年度末数値で、登録期間は3年間で更新は可能です。

(2) 婚活イベント等の開催

参加対象年齢を25歳～35歳に設定した婚活パーティーや、結婚を応援する側の方を対象にした婚活応援講演会、パン作りやいちご狩りの体験型イベントを開催しました。

(3) お見合いのコーディネート

登録制度によるお見合い希望の男女が、プロフィールカードを閲覧後(閲覧場所はセンター内のみに限定)、お見合いの申し出を行い、双方の合意があった場合にお見合いの機会を提供しました。令和5年度は10組のお見合いを実施しました。

3 共同募金配分金事業

令和5年度支出決算額	令和4年度支出決算額	比較増減
3,222,169円	4,697,688円	△1,475,519円

[目的]

共同募金等の配分金を財源として、地域に暮らす人々が共に助け合い、安心して生活を送れるよう、様々な地域課題を解決するための活動を支援し、地域福祉の向上を図ります。

[主な事業内容・実績]

<ul style="list-style-type: none"> ○敬老訪問事業 ○ボランティア団体の活動支援 ○おもちゃ図書館の活動支援 ○母子寡婦福祉会の活動支援 ○貸出し用車椅子の整備 ○生活困窮者自立支援(生理の困窮支援)

○社会福祉活動協力校の活動支援（※）

○サロン活動の支援（※）

○福祉のつどいの開催（※）

※印の実績については、関連事業のページに記載してあります。

決算額は前年度と比較して、特別配分金の交付がなかったため、減額となりました。

(1) 募金実績

多くの方々のご協力のもと募金活動を実施し、共同募金運動の推進を図りました。（募金実施期間10月1日～12月31日）

区分	募金実績額(円)	
	令和5年度	令和4年度
街頭募金	43,976	9,292
イベント募金	72,303	56,589
学校募金	322,288	407,476
職域・戸別募金	1,123,934	1,130,531
法人募金	1,934,161	1,993,621
個人募金	207,678	197,175
その他	61,715	63,639
合計	3,766,055	3,858,323

(2) 配分金事業

愛知県共同募金会からの一般募金配分金（地域の課題解決事業費配分金含む）と歳末たすけあい配分金で、次の事業を実施しました。

ア 敬老訪問

令和5年9月21日に、田原市と共催で満100歳以上の高齢者にお祝いを贈呈しました。

区分	令和5年度	令和4年度	記念品
満100歳以上（人）	68	60	ビーズ式足温器 レグぽかスリム

イ ボランティア団体等への活動支援

ボランティア団体等の自主的な活動を支援するとともに、各種事業の助成を行いました。

団体名	助成金額(円)	
	令和5年度	令和4年度
ボランティア連絡協議会	86,000	86,000
あつみNPOネットワーク	86,000	86,000

おもちゃ図書館	50,000	50,000
ボランティア団体（1団体） 渥美制服リサイクル会	20,500	30,000
社会福祉活動協力校 小学校18校、中学校4校、高等学校3校	1,250,000	1,250,000
サロン（33団体）	443,500	440,500
合計	1,936,000	1,942,500

ウ テーマ型募金「生活困窮者自立支援（生理の困窮支援）」
生理用品を購入し、生活にお困りの方に配布しました。また、公共施設内のトイレに設置しました。

◎地域福祉活動

4 ボランティアセンター運営事業

令和5年度支出決算額	令和4年度支出決算額	比較増減
6,482,569円	6,225,678円	256,891円

[目的]

地域の人たちが他者や地域に関心を持ち、できる時にできる事から、助け合い、分かちあえるボランティア活動に取り組めるよう支援します。

[主な事業内容・実績]

幅広い分野の各種ボランティア養成講座の開催、活躍の場を広げるための情報提供、ボランティアを行う人と必要とする人とのマッチングを行い、相互の交流や連携を図りました。

- 各種講座の開催
- ボランティアセンターの運営
- 防災ボランティアコーディネーターの養成

(1) 講座開催

ボランティア活動参加への動機付けや技術の向上を図るため、各種ボランティア養成講座を開催しました。また、ボランティア紹介セミナーは名称をボランティアのつどいに変更し、ボランティア団体同士の交流を図りました。

内容	令和5年度		令和4年度	
	開催回数 (回)	参加人数 (人)	開催回数 (回)	参加人数 (人)
手話入門講座	6	9	8	7
レクリエーション講座	4	35	4	23
要約筆記体験講座	2	4	1	2
点字入門講座	3	6	3	7

アンガーマネジメント講座	未開催		1	17
傾聴ボランティア講座	2	22	未開催	
ボランティア紹介セミナー	1	45	1	300
合計	18	121	18	356

(2) 広域的ボランティア事業

第31回東三河ボランティア集会は、「小さな芽 大きく育て ボランティア活動 ～みんなで参加 つながる絆と広がる笑顔～」をテーマに田原市で開催しました。田原市から約170名のボランティアが参加し、東三河のボランティア約260名の皆さんが交流を図りました。

(3) ボランティアセンターの運営

ボランティア活動に関する相談・登録・紹介・情報提供等を行うとともに、ボランティア団体、個人の活動を支援しました。

ア ボランティア登録状況 令和6年3月31日現在

区分	令和5年度	令和4年度
個人（人）※	17	15
グループ（団体）	86（10,319人）	85（3,156人）

※令和5年度は、生活ささえあいネット・サポーター数を含んでいません。

イ ボランティア活動に関する相談受付

区分	令和5年度(件)	令和4年度(件)
依頼	9	5
紹介	15	17
連絡・調整	17	11
合計	41	33

ウ ボランティア活動保険への加入状況

区分	令和5年度	令和4年度
加入者数（人）	1,196	839

(4) 防災ボランティアコーディネーターの養成（市受託事業）

災害時において災害ボランティアセンターが立ち上がった際、被災者とボランティアの調整役（コーディネーター）が担える人材を育成することを目的に、養成事業（初級講座2回、レベルアップ講座1回）を実施しました。

また、ボランティアコーディネーター同士のつながり、ネットワークづくりのため、情報交換会を開催しました。

開催日	内容	参加人数(人)
7月22日	防災ボランティアコーディネーター養成講座 渥美会場：渥美文化会館	10
8月5日	防災ボランティアコーディネーター養成講座 田原会場：田原福祉センター	9
2月10日	防災ボランティアコーディネーターレベルアップ講座 会場：田原福祉センター	16
2月25日	防災ボランティアコーディネーター情報交換会 会場：田原福祉センター	20

5 生活ささえあいネット事業(市受託事業)

令和5年度支出決算額	令和4年度支出決算額	比較増減
8,038,600円	8,020,284円	18,316円

[目的]

日常生活で支援が必要になっても安心して生活できる地域環境を整えるため、身近な地域での助け合いを支援します。

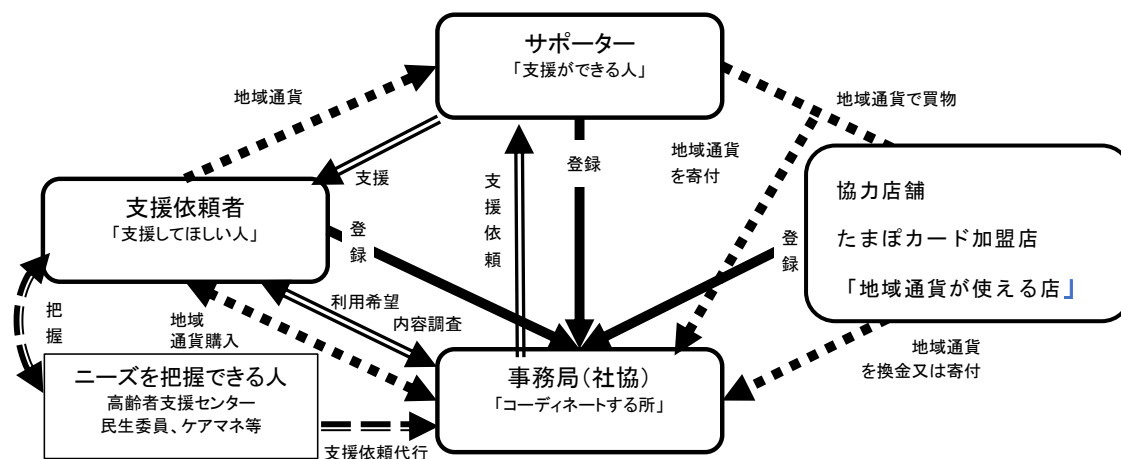
[主な事業内容・実績]

公的なサービスでは対応できない日常生活で起こるちょっとした困りごとを持つ人（支援依頼者）と、地域のボランティア（サポーター）が、「おたがいさま」の気持ちで支え合う仕組みをコーディネートしています。

また、サポーターの意見を聞き取り、互助を積極的に行う地域づくりを推進するとともに、依頼者に対しては、困りごとの内容によって、適切なつなぎ先を紹介するなど、関係機関と連携して支援を行いました。個別ケースを通して把握した地域課題は、生活支援体制整備事業と連携して検討機会を設定しています。

- 支援依頼者、サポーター及び協力店舗の登録
- 支援依頼の受付、サポーターへの支援依頼（コーディネート）
- 地域通貨の発行、換金及び管理
- 関係機関との連携（連絡、つなぎ等）
- 地域課題の発見

生活ささえあいネット事業概要図



※生活ささえあいネット地域通貨

- ・単位「菜（さい）」（100菜通貨1種のみで10枚綴り1冊）
- ・販売価格1,200円/冊（事務手数料200円含む）
- ・30分相当の支援に対し、100菜をお礼として渡す。
- ・100菜はたまぼカード100ポイントとして付与ができる。

(1) 登録状況

区分	支援依頼者(人)		サポーター(人)		協力店舗	
	5年度	4年度	5年度	4年度	5年度	4年度
年度末登録	147	147	161	159	40 事業所 45 店舗	40 事業所 45 店舗

(2) 支援実績等

区分	初回コーディネート(件)		地域通貨販売(冊)	
	令和5年度	令和4年度	令和5年度	令和4年度
年度実績	5	6	56	90
累計※	203	198	948	892

※累計は、平成26年10月の事業開始当初からの累積合計数

(3) 啓発活動等

日付	対象者	会場	参加人数(人)
4月6日	東部井戸端会議	東部市民館	14
6月12日	やぐま台コミュニティカフェほのぼのスタッフ	やぐま台公民館	12
8月7日	田原中学校たはランティア8名、教頭	田原中学校	9
9月12日	田原中学校1年生、教員	田原中学校	250
10月17日	市議会委員会勉強会（市議、事務局）	田原市役所	16
1月10日	カフェむつれ	六連市民館	6
1月25日	田原中学校たはランティア5名、地域支援コーディネーター、教員	田原中学校	8

1月30日	認知症サポーターステップアップ講座 参加者（一般）	田原福祉センター	26
2月27日	認知症サポーター養成講座参加者（民生委員ボランティア部会）	田原福祉センター	24
2月27日	パシフィックロータリー例会	嶺山会館	28
3月9日	認知症サポーター養成講座参加者	慶雲寺	28

*開催 11 回、合計 421 名

6 地域福祉ネットワーク事業(市受託事業)

令和5年度支出決算額	令和4年度支出決算額	比較増減
7,650,452円	7,700,916円	△50,464円

[目的]

地域住民が相互に協力して障害者や高齢者等に対して支援を行うためのネットワークづくり・地域づくりを推進し、小地域での居場所を提供することで地域福祉の増進を図ります。

[主な事業内容・実績]

- 福祉関係事業者やボランティア（団体・個人）、その他の社会資源との連携並びに地域課題についての情報交換
- 小地域での交流の場として社協サロンの開催および自主グループへの支援
- 新規の自主サロン活動グループの育成
- 保育園児とサロン参加者等との交流会の支援
- 学校と地域のつながりづくりの支援
- 学童とサロン参加者等との交流会の支援
- 小・中・高校における福祉教育啓発活動や実践教室での講師派遣調整
- 小地域活動を支援するための講座、映画会の開催

(1) 地域福祉活動の推進（市民館まつり等応援）

校区コミュニティが開催する市民館まつり等の行事に出向き、各種講座、ボランティア活動や共同募金等、社協が行う地域福祉活動に関する啓発を行うとともに、地域住民との交流を図りました。

開催日	行事名	対応状況
5月28日	童浦市民館まつり	職員2人
9月24日	清田市民館まつり	職員2人
10月1日	和地市民館まつり	職員2人
10月14日	田原南部市民館まつり	職員2人
10月15日	堀切市民館まつり	職員2人
10月21日	若戸市民館まつり	職員2人
10月28日	中山校区まつり	職員2人

10月29日	衣笠市民館まつり	職員2人
10月29日	市民まつり	職員6人
11月3日	亀山市民館まつり	職員2人
11月4日	六連市民館まつり	職員2人

(2) 福祉出前講座、なつかしの映画上映会の開催

市内のサロンに出向き、レクリエーションや福祉関連施策等について紹介する講座を開催しました。

また、サロンを対象に映画を通して交流を楽しむ『なつかしの映画会』を開催しました。

ア 福祉出前講座

区分	令和5年度	令和4年度
開催回数(回)	6	10
延参加者数(人)	63	83

イ 映画会

区分	令和5年度	令和4年度
開催回数(回)	3	9
延参加者数(人)	44	166

(3) サロンの開催及び支援

市民館や集会所等身近な場所で、手芸・ゲーム・語らいのひとときを過ごし、地域の中で交流し、元気に長生きすることを目的とした社協サロンを設置し、高齢者等の憩いとふれあいの場を提供しました。

自主活動グループによるサロン運営に対して助成金の交付を行うとともに、レクリエーション器材貸出等の支援を実施しました。また、サロン代表者の交流及び意見交換を目的として自主サロン代表者連絡会を開催しました。

ア 開催実績

区分	令和5年度			令和4年度		
	グループ・会場数	延開催回数(回)	延参加人数(人)	グループ・会場数	延開催回数(回)	延参加人数(人)
社協主催サロン	18	397	1,945	18	398	2,126
自主サロン	1日を通して実施	4	179	5	205	3,207
	半日実施	40	1,420	36	1,401	16,207
合計	62	1,996	21,706	59	2,004	21,540

※社協主催サロンには、指導員(臨時職員)を派遣しています。

イ 助成制度

区分	開催回数	人数	助成金額(円)
1日を通して実施(※) (旧コミュニティサロン)	月2回程度	10人未満	54,000
		10人以上20人未満	72,000
		20人以上	96,000
半日実施(旧シルバーサロン) ※助成初年度から3年度目まで	月1回以上	5人以上10人未満	20,000
		10人以上	30,000
半日実施 ※助成4年度目以降	月1回以上	5人以上10人未満	15,000
		10人以上	20,000

※1日を通して実施しているサロンへの助成金の一部に、共同募金配分金が活用されています。

(4) 地域における世代間交流

市内の3地区で、保育園の園児や小学校の児童との多世代交流の場を設けました。

開催日	サロン名	行事名	対応状況
6月14日	若戸校区社協サロン	若戸小学校1年生 梅ジュース作り交流会	職員1人
6月14日	若戸校区社協サロン	若戸小学校1年生 梅干し作り交流会	職員1人
7月7日	泉校区社協サロン	泉保育園七夕交流会	職員2人
7月12日	若戸校区社協サロン	若戸小学校1年生 作品作り交流会	職員1人
9月28日	若戸校区社協サロン	若戸小学校1年生 作品作り交流会	職員1人
11月8日	若戸校区社協サロン	若戸小学校1年生 学芸会発表交流会	職員1人
12月13日	若戸校区社協サロン	若戸小学校1年生 クリスマス会	職員1人
12月19日	高松校区社協サロン	子育て教室 クリスマス会	職員1人
1月24日	若戸校区社協サロン	若戸小学校1年生 昔の遊び交流会	職員1人
2月20日	高松校区社協サロン	子育て支援教室、高松 小学校1年生 ひなまつり交流会	職員1人
3月13日	若戸校区社協サロン	若戸小学校1年生 作品作り交流会	職員1人

(5) 社会福祉活動協力校事業

市内の小・中・高等学校（小学校18校、中学校4校、高等学校3校）を社会福祉活動協力校に指定し、1校最大で5万円の助成金を交付するとともに、福祉実践教室への講師派遣等を実施し、児童・生徒の健やかな成長を促し、思いやりのある福祉の心を育てるよう支援しました。

区分	令和5年度		令和4年度	
	開催回数(回)	参加人数(人)	開催回数(回)	参加人数(人)
車いす	15	663	12	510
手話	18	782	15	657
要約筆記	2	73	2	61
点字	12	420	13	468
盲導犬	6	222	5	209
視覚ガイド	12	480	11	421
知的障害	1	60	1	37
高齢者擬似体験	4	127	5	197
認知症	9	314	8	252
講話	1	106	0	0
合計	80	3,247	72	2,812

※社会福祉活動協力校への助成金には、共同募金配分金が活用されています。

7 生活支援体制整備事業(市受託事業)

令和5年度支出決算額	令和4年度支出決算額	比較増減
12,528,048円	12,178,171円	349,877円

[目的]

ひとり暮らし高齢者及び高齢者のみ世帯、認知症高齢者等の増加に伴い生活支援ニーズが多様化するなか、既存の介護サービス事業所によるサービスだけでなく、地域住民が担い手となった社会資源やサービスの充実が図られるよう、生活支援等の体制整備に向けた調整役として、生活支援コーディネーター（第二層）を配置し、助け合い活動の創出に向けた地域情報交換の場（協議体）の開催とネットワークの構築といった生活支援・介護予防サービスの基盤整備を推進します。

[主な事業内容]

<ul style="list-style-type: none"> ○地域のニーズと資源の状況の見える化、問題提起 <ul style="list-style-type: none"> ・地域の生活をささえあうための活動に関するニーズの把握、課題整理 ・地域資源に関する資料の更新又は集約活動 ・地域の困りごとを我が事と捉え、地域住民が主体的にできることは何かを考えるきっかけづくり ○関係機関（自治会、高齢者支援センター等）とのネットワークの構築 ○生活支援の担い手（ボランティアやサロン運営者）の養成やサービスの開発 ○ニーズと生活支援サービスのマッチング ○必要時、個別ケア会議への出席 ○高齢者の就労的活動の実情とニーズの把握
--

(1) 地域のニーズと資源の状況の見える化、問題提起

田原市の生活支援サービスについての聞き取りを行い、生活ささえあいネット事業や介護予防事業の課題を把握しました。これらの課題を検討し、高齢福祉課及び地域福祉課に報告し、地域の問題解決のための新たな仕組みを提案しました。さらに、個々のケースを通じて地域の特性を理解し、それに基づいて地域の問題に対する解決策を検討しました。

区分	令和5年度(回)	令和4年度(回)
地域生活のニーズ把握、課題整理	60	131
地域資源に関する資料更新、集約活動	36	132
地域住民が可能なことを考えるきっかけづくり	72	175

(2) 関係機関とのネットワークの構築

地域住民やコミュニティとの関係を構築し維持するため、地域に出向く機会を増やしました。高齢者支援センターや認知症地域支援推進員と協力し、人と人とのつながりの重要性を啓発する講座を開催し、さらに、生活ささえあいネット担当者と共に出前講座を行い、地域住民に対し人とのつながりを持つことの大切さを伝える機会を設けました。

区分	令和5年度(回)	令和4年度(回)
関係機関等との連携強化	392	517
第二層協議体の設置	3	7

(3) 生活支援の担い手養成やサービスの開発

地域食堂の運営相談に対応し、スタッフと連携して実運営と周知活動を行い、ボランティアの活躍の場を提供しました。また、認知症地域支援推進員と協力し、認知症サポーター養成講座や地域包括ケアシステム講座を開催し、生活ささえあいネット事業の周知啓発と地域の担い手育成を推進しました。

この先の担い手育成のために、ボランティアセンターと連携し、多世代交流とボランティア体験の機会をつくりました。

区分	令和5年度(回)	令和4年度(回)
地域の担い手の発掘及び働きかけ促進 (サロンやボランティア団体等との交流、相互理解促進)	51	64
地域とのつながりをつくり、サービスの開発を促進	10	39

(4) 個別ケア会議への出席

区分	令和5年度(回)	令和4年度(回)
個別ケア会議への出席	3	11

(5) 働き方に関するアンケートを実施し（回答者 168 名）、高齢者の就労的活動の実情とニーズを把握しました。

(6) 活動区分数

	令和5年度(回)	令和4年度(回)
訪 問	255	314
電 話	69	121
来 所	60	59
その他※	31	74
合計	415	568

※その他は、社会福祉協議会内他事業との情報共有、活動調整の数です。

◎福祉サービス利用支援

8 成年後見センター事業（市受託事業）

令和5年度支出決算額	令和4年度支出決算額	比較増減
15,272,215円	14,212,000円	1,060,215円

[目的]

判断能力が十分でない障害者や高齢者の日常生活上必要な契約行為・財産の管理、権利侵害に対して、本人やその親族等養護者を支援することにより、本人の利益や権利の擁護に努めます。

[主な事業内容・実績]

成年後見制度利用に関する相談や権利侵害への対応、法人後見（{身上監護（契約手続等）と財産の管理}）の受任などの権利擁護・成年後見業務を行いました。

- 判断能力が不十分な方への権利擁護に関する相談対応
- 成年後見制度の申立支援（市長申立が必要な対象者への支援含む）
- 成年後見センター運営委員会の開催
- 法人後見人・法人後見監督人の受任
- 親族後見人等の相談対応
- 成年後見・権利擁護に関する啓発事業等の開催
- 日常生活自立支援事業利用に関する相談対応、支援
- 市民後見人等養成の検討

決算額は前年度と比較して、複雑な問題を抱える事例等が増加したことに伴い、人件費が増額となりました。

(1) 成年後見センター運営委員会

・開催回数 全1回(令和5年8月9日)

(2) 広報及び周知啓発活動

- ・社協広報紙「たはら社協だより」第122号(令和6年1月号)掲載
- ・成年後見センター啓発講座『任意後見制度と民事信託～元気なうちに自ら決める将来の備え～』講師：名古屋法務局豊橋支局(令和6年2月21日)

(3) 他機関との連携

- ・田原市障害者自立支援協議会権利擁護部会(令和5年8月8日)
- ・家事関係機関と家庭裁判所との連絡協議会(令和6年2月9日)
- ・東三河5市社協成年後見事業情報交換会全2回(令和5年9月12日
新城市社会福祉協議会、令和6年2月15日蒲郡市社会福祉協議会)
- ・全国権利擁護支援ネットワーク中部ブロック研修会(令和6年3月15日)

(4) 成年後見制度、権利擁護等に関する一般相談、支援

区分	令和5年度(人)	令和4年度(人)
相談実人数	59	52
内成年後見申立支援	8	6

(5) 法人後見の受任

区分	令和5年度(人)	令和4年度(人)
後見	7	9
保佐	8	6
補助	2	2
合計	17	17

9 日常生活自立支援事業(県社協受託事業)

令和5年度支出決算額	令和4年度支出決算額	比較増減
893,911円	740,765円	153,146円

[目的]

認知症高齢者・知的障害者・精神障害者など判断能力が十分でない方のために、福祉サービスを利用時の援助などを行うことで、自立した生活が送れるよう支援します。

[主な事業内容・実績]

- 福祉サービスの利用援助(相談・助言・情報提供、連絡調整、代行、代理)
- 日常的金銭管理サービス(利用料：1回 1,200円)
- 書類等の預かりサービス(利用料：年間 3,000円)

(1) 利用者内訳

区分	令和5年度(人)	令和4年度(人)
昨年からの継続利用者数	12	9
新規契約件数	6	4
合計	18	13
終了件数	1	1
年度末時点利用者数	17	12
未契約者数 (契約準備中/県社協承認済)	0	0

(2) 区分別利用者数

区分	認知	知的	精神	合計
人数	7	5	5	17

10 資金貸付事業(県社協受託事業)

令和5年度支出決算額	令和4年度支出決算額	比較増減
484,065円	1,051,673円	△567,608円

[目的]

経済的、社会的基盤の不安定な低所得世帯等に対し、低利子又は無利子で福祉資金の貸付を行い、償還指導や生活援助活動を通して世帯の安定と自立を図ります。

[主な事業内容・実績]

- 生活福祉資金の貸付
- くらし資金の貸付

決算額は前年度と比較して、新型コロナウイルス感染症の影響により収入が減少した世帯を対象とした特例貸付の申請受付が令和4年9月末で終了したことに伴い、減額となりました。

(1) 生活福祉資金貸付事業

区分	令和5年度(件)	令和4年度(件)
相談件数	13	45
貸付件数	0	33

(2) くらし資金貸付事業

区分	令和5年度(件)	令和4年度(件)
相談件数	0	0
貸付件数	0	0

1 1 心配ごと相談事業（市受託事業）

令和5年度支出決算額	令和4年度支出決算額	比較増減
1,925,500円	1,883,500円	42,000円

[目的]

市民の日常生活上の様々な心配ごととの相談に無料で応じ、弁護士・司法書士・行政相談委員・民生児童委員・人権擁護委員等の相談員と連携し、適切な助言・指導等を行うことにより、福祉の増進を図ります。

[主な事業内容・実績]

○田原福祉センター	奇数月2回（原則第1・第3水曜日） 偶数月3回（原則第1・第3水曜、第4木曜日） 午後1時～午後4時
○赤羽根福祉センター	隔月1回（偶数月第2水曜日） 午後1時～午後4時
○あつみライフランド	毎月1回（原則第1火曜日） 午後1時30分～午後4時
※1件当たりの相談時間は30分	

(1) 会場別相談実績

地区	田原		赤羽根		あつみ		合計	
	5年度	4年度	5年度	4年度	5年度	4年度	5年度	4年度
相談件数(件)	171	145	0	0	49	39	220	184

(2) 内容別相談実績

内容	件数	内容	件数	内容	件数
相続	56	離婚・養育費	34	土地・建物	23
損害賠償	22	家族・家庭	16	借金	10
その他（職業・雇用、貸金、事故、多重債務等）					59
合計			220		

1 2 障害児相談支援事業

令和5年度支出決算額	令和4年度支出決算額	比較増減
0円	0円	0円

[目的]

児童福祉法等関係法令に基づく指定事業所として、障害のある児童やその家族の地域生活を支援します。

[主な事業内容・実績]

障害のある児童が障害福祉サービスを利用するため、障害児支援利用計画書を作成し、サービス利用支援や訪問等によるモニタリングを行います。

○田原市社協相談支援事業所 営業日 月曜日から金曜日まで (祝日、12月29日～翌年1月3日を除く) ・障害児支援利用計画書を作成、福祉サービスの利用援助 ・モニタリングの実施 ・障害児の居宅生活について必要な情報提供及び助言による援助

利用状況

区分	令和5年度	令和4年度
利用計画書作成件数 (件)	0	0

※障害児の相談については、田原市こども相談支援事業所が専門的に受けることが多いため、作成実績はありません。

1.3 一般相談支援事業

令和5年度支出決算額	令和4年度支出決算額	比較増減
40,000円	0円	40,000円

[目的]

障害者総合支援法等関係法令に基づく指定事業所として、精神科病院に長期入院している方を対象に、退院後に地域で安心して生活ができるよう地域移行支援や単身で生活に不安がある方に、地域定着支援を行います。

[主な事業内容・実績]

○田原市社協相談支援事業所 営業日 月曜日から金曜日まで (祝日、12月29日～翌年1月3日を除く) ・地域移行支援 (精神科病院に長期間入院している方や、障害者支援施設に入所している方を対象に、退院や退所後に地域に移行して安心して生活できるよう住居確保、体験宿泊支援、障害福祉サービス利用調整等の支援) ・地域定着支援 (病院や施設から退院・退所した方、地域生活が不安定な方を対象に、常時の連絡体制を築き、緊急の事態等に対応する支援)
--

(1) 利用状況

区分	令和5年度	令和4年度
利用計画書作成件数 (件)	2	0

1.4 特定相談支援事業 (市受託事業)

令和5年度支出決算額	令和4年度支出決算額	比較増減
20,077,169円	16,161,540円	3,915,629円

[目的]

障害者総合支援法等関係法令に基づく指定事業所として、障害者等を対象に、障害福祉サービス利用計画書を作成し、適切なサービス提供を行います。

[主な事業内容・実績]

不安の解消や余暇活動等、日常生活の様々な相談に応じるほか、就労希望障害者に対して、障害者雇用が可能な企業等を開拓し、就労支援を推進しました。

○田原市社協相談支援事業所	
営業日	月曜日から金曜日まで (祝日、12月29日～翌年1月3日を除く)
<ul style="list-style-type: none"> ・サービス等利用計画書の作成、福祉サービスの利用援助 ・モニタリングの実施 ・社会資源を活用するための支援 ・社会生活力を高めるための支援 ・権利の擁護のために必要な援助 ・専門機関の紹介 ・就労に関する支援 ・生活保護被保護者への就労支援 ・市内の障害者等のニーズの把握に関する業務 ・地域自立支援協議会各会議の運営に関する業務 ・介護保険サービスとの併用世帯や権利擁護を必要とする障害者に関する相談支援業務等 	

決算額は前年度と比較して、これまで非課税対象として取り扱っていた市の委託料が、消費税の課税対象であるとの指摘を受けたため、過去5年間にさかのぼり市の委託料修正分を収入計上し、消費税修正申告及び納税したことにより、増額となりました。

(1) 相談実績

相談方法	※相談実人数累計 (人)		相談延回数(回)	
	令和5年度	令和4年度	令和5年度	令和4年度
電話相談	167	84	1,166	558
来所相談	104	51	376	173
訪問・同行	180	65	759	182
その他(連絡調整等)	339	275	1,170	3,174
合計	790	475	3,471	4,087

(2) 支援実績

支援内容	※支援実人数累計 (人)		支援延回数(回)	
	5年度	4年度	5年度	4年度
福祉サービスの利用支援 (障害児、一般、特定相談支援含む)	94	131	640	2,537
障害や症状の理解に関する支援	14	1	27	1
健康・医療に関する支援	38	10	180	24

不安の解消・情緒安定に関する支援	24	8	77	20
保育・教育に関する支援	3	0	10	0
家族関係・人間関係に関する支援	5	1	16	2
家計・経済に関する支援	9	18	42	33
就労に関する支援	277	104	2,208	1,441
生活技術に関する支援	19	1	30	6
社会参加・余暇活動に関する支援	7	1	15	2
権利擁護に関する支援	8	1	13	1
その他情報交換・生活状況確認等	54	3	213	20
合計	552	279	3,471	4,087

※(1)相談実績と(2)支援実績の支援実人数累計の合計が異なるのは、集計方法が異なるためです。

※令和5年度から、福祉サービスの利用者は支援内容によって該当するサービスに振り分けるよう変更しています。

(3) サービス等利用計画作成実

実利用者数(人)		計画等作成件数(件)	
令和5年度	令和4年度	令和5年度	令和4年度
124	120	478	462

(4) 就労支援実績及び支援内容（相談件数は(1)(2)を含む）

ア 支援対象者数

(ア) 障害別

身体障害		知的障害		精神障害		その他(※)		計(人)	
5年度	4年度	5年度	4年度	5年度	4年度	5年度	4年度	5年度	4年度
8	11	51	39	50	49	30	22	139	121

※「その他」は、うつ病、発達障害、パニック障害等の障害者手帳未所持者です。

(イ) 就労状況別

在職		求職		計(人)	
5年度	4年度	5年度	4年度	5年度	4年度
72	76	28	30	100	106

イ 就職等の状況

就労支援(人)		定着支援(人)		※定着支援のうち			
				福祉的就労(人)		定着支援事業利用者(人)	
5年度	4年度	5年度	4年度	5年度	4年度	5年度	4年度
28	30	72	76	16	15	8	11

1 5 高齢者支援(地域包括支援)センター事業(市受託事業)

令和5年度支出決算額	令和4年度支出決算額	比較増減
41,145,258円	41,230,903円	△85,645円

[目的]

地域住民の心身の健康の保持及び生活の安定のために必要な援助を行うことにより、高齢者が住みなれた地域で、尊厳あるその人らしい生活を継続できるよう、介護、保健、医療、福祉の増進を包括的に支援します。

[主な事業内容・実績]

- 主センター 赤羽根福祉センター内
サブセンター 渥美福祉センター(ライフランド)内
- 営業日 月曜日から金曜日(祝日、12月29日～翌年1月3日を除く) 携帯電話への転送機能を使用し、24時間365日の相談対応。
- 総合相談支援業務
 - ・総合的な相談支援
 - ・ひとり暮らし高齢者及び高齢者のみ世帯への訪問による生活状況の確認と課題の早期発見
- 権利擁護業務
 - ・高齢者虐待の防止、消費者被害の防止活動
 - ・成年後見制度、日常生活自立支援制度活用の促進
- 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務
 - ・地域の介護支援専門員と関係機関の連携支援
 - ・困難事例の相談受付及び同行訪問等の支援
 - ・事例検討会・研修会の実施
- 介護予防に係るケアマネジメント業務
 - ・事業対象者、要支援認定者の自立した日常生活の支援
 - ・介護予防に取り組む必要がある高齢者の把握及び介護予防に関する教室への参加促進
- 多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築
 - ・地域の保健・福祉・医療サービス・ボランティア等の連携支援
 - ・生活支援コーディネーター、地域コミュニティと連携して社会資源を把握
- 認知症に関する取り組み
 - ・認知症地域支援推進員を配置
 - ・認知症に関する正しい知識の周知・啓発活動
 - ・認知症高齢者やその家族を地域で支え、見守る体制の構築
- 地域ケア会議の推進
 - ・多職種協働による個別ケースの検討及び問題解決
 - ・個別ケースの課題分析等を通じた地域課題の発見と支えあいの地域づくり

窓口	設置場所	営業日	担当圏域
主センター (総合相談)	赤羽根福祉センター	月曜日から 金曜日まで (祝日、12 月29日～翌 年1月3日を 除く)	野田小学校区 赤羽根中学校区 伊良湖岬小学校区
サブセンター (総合相談)	あつみライフランド		
ブランチ (窓口機能)	田原福祉センター		

主センター、サブセンターは携帯電話への転送機能を使用し、24時間365日の相談対応を行いました。

(1)総合相談支援業務等

総合相談の新規相談者数は前年度に比べてわずかに減少しましたが、初期相談内容に大きな変化は見られませんでした。介護保険申請、住宅改修・福祉用具の相談、総合事業の相談が多く、これは例年の傾向と一致しています。実態把握業務や民生児童委員との情報交換会はほぼ予定通りに行われ、高齢者支援センターの機能紹介では、講座や地域の集まりでリーフレットを配布し、説明を行いました。一方で、介護保険関連事業者等連絡会の事務局としての活動は時間の確保が難しく、計画通りの活動を実施することができませんでした。

ア 赤羽根福祉センター・あつみライフランド

新規相談実人数 令和5年度：260人 令和4年度：273人

圏域	電話 (件)		来所 (件)		訪問 (件)		合計 (件)	
	5年度	4年度	5年度	4年度	5年度	4年度	5年度	4年度
野田	150	125	28	28	126	103	304	256
赤羽根	299	284	157	83	252	259	708	626
泉	199	331	55	111	161	220	415	662
伊良湖岬	189	328	57	80	142	288	388	696
担当圏域外	16	19	17	30	2	0	35	49
合計	853	1,087	314	332	683	870	1,850	2,289

イ 田原福祉センター 相談窓口 (ブランチ)

校区等	電話 (件)		来所 (件)		訪問 (件)		計 (件)		担当高齢者 支援センター
	5年度	4年度	5年度	4年度	5年度	4年度	5年度	4年度	
野田	0	0	3	4	0	0	3	4	社協
赤羽根	0	1	3	1	0	0	3	2	
泉	3	1	2	0	0	0	5	1	
伊良湖岬	0	2	0	3	0	0	0	5	

福江	2	2	4	4	0	0	6	6	福寿園
東部	4	4	1	6	0	0	5	10	
童浦小	4	2	8	7	0	0	12	9	
田原(童浦小除)	2	3	1	1	0	0	3	4	あつみの郷
不明・市外等	5	3	2	4	0	0	7	7	—
合計	20	18	24	30	0	0	44	48	—

ウ ネットワーク構築

圏域	令和5年度(件)	令和4年度(件)
野 田	6	4
赤 羽 根	14	8
泉	3	7
伊良湖岬	19	33
市内全般	74	54
合計	116	106

(2) 権利擁護業務

複合的な課題を抱える家庭や、判断能力に課題のある一人暮らしの方々への支援を、困難事例として取り組みました。例年と比較すると、成年後見制度等の医療や虐待に関する相談、対応が少ない状況でした。困難事例への対応は、高齢者支援センターだけで解決することは難しいため、多職種・他機関と協働して対応を行いました。

援助項目	延件数(件)	
	令和5年度	令和4年度
成年後見の利用(利用相談含む)	0(実人数0名)	63(実人数2名)
虐待への対応	15(実人数1名)	103(実人数1名)
消費者被害への対応	0(実人数0名)	15(実人数1名)
困難事例への対応	184(実人数6名)	339(実人数4名)
合計	199(実人数7名)	520(実人数8名)

(3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

ケアマネージャーからの相談を受け、個別支援における課題解決に向けて、共同で検討を重ねました。高齢者支援センターが提供可能な支援を提案し、合意形成を経て実施に移しました。地域ケア個別会議により、より良い支援となるケースもありましたが、準備や調整の時間が確保できず、実施できませんでした。他の2つの高齢者支援センターおよび市役所と協力し、研修会や事例検討会を実施しました。

区分		令和5年度	令和4年度
個別支援	実人数(人)	10	12
	延べ支援数(回)	161	307

(4) 介護予防ケアマネジメント業務

自立支援を目標とした予防プラン作成を心がけました。また、地域のサロン、教室、集いへの参加の声掛け、インフォーマルサービスの活用の提案を行いました。予防プラン作成件数は毎年度増加しています。

ア 指定介護予防支援等(要支援の方等のプラン作成)

区分	令和5年度	令和4年度
年度末登録者数(人)	206	197
予防プラン作成件数(件)	2,487(委託件数0件)	2,188(委託件数0件)

イ 指定介護予防支援等相談内訳

圏域	電話(件)		来所(件)		訪問(件)		連絡調整(件)		合計(件)	
	5年度	4年度	5年度	4年度	5年度	4年度	5年度	4年度	5年度	4年度
野田	269	201	6	6	468	476	845	648	1,588	1,331
赤羽根	366	299	16	18	730	600	1,440	965	2,552	1,882
泉	439	371	1	3	479	447	942	764	1,861	1,585
伊良湖岬	488	506	29	41	640	560	892	950	2,049	2,057
その他	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0
合計	1,562	1,377	52	68	2,317	2,083	4,120	3,327	8,051	6,855

(5) 認知症に関する取り組み

認知症サポーター養成講座を実施し、地域の方々に認知症に関する理解を深めていただくとともに、地域の支え合いの大切さを周知しました。

ア 認知症サポーター養成講座

開催数(回)		参加人数(人)	
5年度	4年度	5年度	4年度
10	7	265	162

イ 認知症対応講座

開催数(回)		参加人数(人)	
5年度	4年度	5年度	4年度
1	3	16	67

(6) 地域ケア会議の推進

地域ケア個別会議を実施することで、より適切な支援を行うことが可能なケースはありました。しかし、会議開催に必要な準備や調整に要する時間を確保できず、結果として地域ケア会議を開催することができませんでした。

個別支援開催数(回)		圏域課題支援(回)	
5年度	4年度	5年度	4年度
0	8	0	0

1 6 生活困窮者自立相談支援事業（市受託事業）

令和5年度支出決算額	令和4年度支出決算額	比較増減
25,246,106円	21,123,993円	4,122,113円

[目的]

経済的困窮、社会的孤立など、さまざまな困難を抱え生活に困窮している方へつながり続ける伴走的支援を行うことにより、経済的・社会的自立を促します。

[主な事業内容・実績]

田原福祉センターに職員を配置し、寄り添いながら自立に向けた支援を行いました。

コロナ禍で顕在化した生活困窮者の相談は、継続して増え続けています。生活困窮者の抱えている課題を適切に評価・分析し、家計改善支援、社会的孤立を防ぐためのこども食堂や当事者会の支援、医療機関へのつながりや企業への就職支援、食料支援をしました。また、失業給付や障害年金、傷病手当金受給手続き、貸付制度等他の福祉制度の紹介・利用支援、その他必要に応じて課題を踏まえた個別の支援を行いました。

また、食料支援のためのフードバンク（食品の寄付受付）のほか、生理の貧困（困窮や知識不足等により生理用品を入手できない状態）対策として周知啓発活動、公共機関や生活困窮者への生理用品の配布を行いました。

○職員体制（田原福祉センターに配置）

- (1) 主任相談支援員兼就労支援員 1人（兼任）
- (2) 相談支援員 1人（兼任）
- (3) 就労支援員 1人（兼任）

○利用対象者

経済的に困窮し、最低限度の生活を維持することができなくなるおそれのある方。ただし、「経済的に困窮」の具体的な要件はなく、困っている訴えがある方はすべて支援対象となる。

決算額は前年度と比較して、困難事例（多問題世帯や外国人世帯への対応）の増加や長期化する相談支援に対応するため、職員を増員したことに伴い増額となりました。

(1) 実績

区分	令和5年度	令和4年度
新規相談（世帯数）	85	80
食料支援（件）	368	302
食料寄付受付（件）	191	177
生理用品支給（件）	37	10

1 7 生活困窮者等就労準備支援事業（市受託事業）

令和5年度支出決算額	令和4年度支出決算額	比較増減
4,672,926円	4,202,038円	470,888円

[目的]

就労に向けた準備が整っていない生活困窮者等に、生活習慣確立のための指導等を行い、日常生活や社会生活の自立を支援します。

[主な事業内容・実績]

就労に向けた準備として、日常生活や社会生活自立支援段階から相談に応じ、社会参加・就労への第一歩を支援しました。

○職員体制	就労準備支援員 1人（田原福祉センター）
○利用対象者	生活リズムが崩れている等の理由により、就労に向けた準備が整っていない生活困窮者等

(1) 相談実績

区分	令和5年度	令和4年度
計画作成（件）	7	5
相談件数（件）	41	11

1 8 障害福祉サービス事業（障害者総合支援法に基づく事業）

令和5年度支出決算額	令和4年度支出決算額	比較増減
8,819,388円	9,553,964円	△734,576円

[目的]

障害者総合支援法等関係法令に基づく指定居宅介護事業所として、利用者が居宅において自立した日常生活や社会生活を営むことを支援します。

[主な事業内容・実績]

必要な居宅介護及び同行援護を適切に行いました。

○田原市社協ヘルパーステーション
営業日 月曜日から日曜日
（第3日曜日、1月1日～3日を除く）

(1) 利用実績

実利用者数（人）※月平均		延派遣時間数（時間）		延派遣回数（回）	
5年度	4年度	5年度	4年度	5年度	4年度
25	23	2,175	2,289	2,185	2,177

1 9 就労移行支援事業（障害者総合支援法に基づく事業）

令和5年度支出決算額	令和4年度支出決算額	比較増減
18,886,243円	19,783,239円	△896,996円

[目的]

障害者総合支援法等関係法令に基づく指定事業所として、一般企業への就職を希望し、雇用される見込みのある障害者に対して「安心して働き続けること」を目標に支援します。

[主な事業内容・実績]

本人の意向・適性に基づいた計画書を作り、施設内での就労訓練や職場実習等を行うことにより、早期の就労を図るとともに、就職後の定着支援を行いました。

○多機能型事業所田原市社協・就労定着支援事業所					
営業日 月曜日から金曜日まで					
(祝日、12月29日～翌年1月3日を除く)					
<ul style="list-style-type: none"> ・個別支援計画の作成 ・就労に必要な知識及び能力の向上のために必要な訓練 ・生産活動の機会の提供 ・実習先企業等の紹介 ・就労への移行に向けた求職等の支援 ・就労後の職場定着のための支援 					

(1) 利用実績

実利用者数(人)		延利用回数(回)		就職者数(人)	
5年度	4年度	5年度	4年度	5年度	4年度
6	8	1,386	1,111	2	3

※利用者数については、年度末における数値です。

20 移動支援事業

令和5年度支出決算額	令和4年度支出決算額	比較増減
5,027,552円	4,725,700円	301,852円

[目的]

田原市等の地域生活支援事業の指定事業所として、障害者児の余暇支援等が適切に行えるよう外出援助を行います。

[主な事業内容・実績]

利用者が映画、各種イベント等に参加する際の外出支援を行いました。

○田原市社協ヘルパーステーション					
営業日 月曜日から日曜日					
(第3日曜日、1月1日～1月3日を除く)					

(1) 事業実績

実利用者数(人) ※月平均		延派遣時間数(時間)		延派遣回数(回)	
5年度	4年度	5年度	4年度	5年度	4年度
27	25	2,152	2,833	499	469

2 1 生活介護事業（障害者総合支援法に基づく事業）

令和5年度支出決算額	令和4年度支出決算額	比較増減
39,926,012円	36,689,210円	3,236,802円

[目的]

障害者総合支援法等関係法令に基づく指定事業所として、利用者が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう適正なサービスを提供することを目的とします。

[主な事業内容・実績]

居宅に近い環境の中で、地域及び家族との結びつきを大切にし、創作、作業、余暇活動等を行い、生きがいや居場所づくりを行いました。

○田原市社協生活介護事業所なのはな（18歳以上の障害者を対象）
 営業日 月曜日から金曜日
 （8月13日～15日、12月29日～翌年1月3日及び
 「海の日」「スポーツの日」「敬老の日」「成人の日」を除く）

決算額は前年度と比較して、職員配置の変更と車両費（車検代）の増加、内部取引額（他事業への財源補填支出）の影響により、増額となりました。

(1) 利用実績

実利用者数(人)		延利用回数(回)	
令和5年度	令和4年度	令和5年度	令和4年度
27	26	2,701	2,598

2 2 日中一時支援事業（障害者総合支援法に基づく事業）

令和5年度支出決算額	令和4年度支出決算額	比較増減
1,815,297円	3,982,636円	△2,167,339円

[目的]

田原市地域生活支援事業の指定事業所として、障害者（児）の日中における活動の場を確保するとともに、家族の就労支援や日常生活の介護負担の軽減を図ります。

[主な事業内容・実績]

田原市地域生活支援事業（給付事業）実施要綱に基づき、利用者の身体その他の状況及びその置かれている環境に応じて、必要な訓練等を行いました。

○田原市社協日中一時支援事業所
 営業日 土曜日
 （最終週の土曜日を除く、8月13日から8月15日及び
 12月29日～翌年1月3日を除く）

決算額は前年度と比較して、営業日を土曜日のみに変更したことにより人件費等が減少し、減額となりました。

(1) 利用実績

実利用者数(人)		延利用回数(回)	
令和5年度	令和4年度	令和5年度	令和4年度
9	11	245	332

実績の減少については、市内に放課後デイサービスが複数開業し社会資源が増え、利用者の選択肢が増えたためと思われます。

◎在宅福祉サービス

2 3 居宅介護支援事業(介護保険事業)

令和5年度支出決算額	令和4年度支出決算額	比較増減
62,778,264円	60,374,312円	2,403,952円

[目的]

介護保険法の居宅介護支援事業の指定事業所として、要介護者等の心身の特性を踏まえて、その有する能力に応じて自立した日常生活を営むことができるように配慮して介護支援を行います。

[主な事業内容・実績]

介護保険制度における介護サービスを利用するためのサービス計画(ケアプラン)を作成し、要介護者とその家族の生活を支援しました。

赤羽根及び渥美の2箇所に拠点を設置し、介護サービス等に関する相談支援を行いました。

○田原市社協あかばねケアプランセンター
○田原市社協あつみケアプランセンター
営業日 月曜日から金曜日まで
(祝日、12月29日～翌年1月3日を除く)
・各種介護相談対応、申請援助
・要介護者等の在宅生活を支える居宅サービス計画書(ケアプラン)の作成
・施設入所等の相談対応
・入退院時の医療機関との連携
・他市町村からの要介護認定調査依頼の受託

決算額は前年度と比較して、職員配置の変更に伴う人件費の増により、増額となりました。

事業所	年度末登録者数(人)		プラン作成件数(件)	
	令和5年度	令和4年度	令和5年度	令和4年度
赤羽根	121	130	1,447	1,530
あつみ	147	171	1,817	2,065
合計	268	301	3,264	3,595

2 4 訪問介護事業（介護保険事業及び市受託事業）

令和5年度支出決算額	令和4年度支出決算額	比較増減
33,153,494円	31,912,276円	1,241,218円

[目的]

介護保険法の訪問介護及び介護予防訪問介護事業の指定事業所として、利用者の意欲を高めるような適切な働きかけを行うとともに、利用者の自立の可能性を最大限引き出す支援を行います。

[主な事業内容・実績]

介護を必要とする方にヘルパーを派遣し、身体介護や生活援助等のサービスを提供しました。

○田原市社協ヘルパーステーション 営業日 月曜日から日曜日 (第3日曜日、1月1日～3日を除く)
--

決算額は前年度と比較して、給料表等の改正により人件費が増加したことに伴い増額となりました。

(1) 訪問介護(要介護1～5)

実利用者数(人) ※月平均		延派遣時間数(時間)		延派遣回数(回)	
5年度	4年度	5年度	4年度	5年度	4年度
16	19	1,427	1,768	1,619	2,262

(2) 介護予防訪問介護(要支援1～2)

実利用者数(人) ※月平均		延派遣時間数(時間)		延派遣回数(回)	
5年度	4年度	5年度	4年度	5年度	4年度
23	17	1,591	1,243	1,615	1,310

(3) 学校生活介助員事業(市受託事業)

障害等を有し学校生活への適応が困難な児童・生徒に対し、必要に応じて田原市内の小・中学校に学校生活介助員を派遣します。

実利用者数(人) ※月平均		延派遣時間数(時間)		延派遣回数(回)	
5年度	4年度	5年度	4年度	5年度	4年度
0	0	0	0	0	0

※利用申請がないため実績はありません。

2 5 福祉車両運行サービス事業

令和5年度支出決算額	令和4年度支出決算額	比較増減
1,832,985円	1,921,066円	△88,081円

[目的]

高齢や障害により自力で公共交通機関を利用することが困難な方を会員とし、医療機関や公共施設などへの移動手段として福祉車両による送迎を行うことにより、在宅生活の支援に努めます。

[主な事業内容・実績]

医療機関や公共施設などへ移動する際の送迎サービスを行いました。

○月曜日から金曜日まで（祝日、12月29日～翌年1月3日を除く） 午前8時30分～午後5時15分
○利用料金は、利用者の家から目的地までの距離により異なる
○発着のどちらかが、田原市内であることが条件

(1) 利用実績

事業所	年間延利用件数（件）					
	高齢者		障害者		合計	
	5年度	4年度	5年度	4年度	5年度	4年度
田原	420	457	428	260	848	717
赤羽根	0	0	1	0	1	0
渥美	74	189	84	91	158	280
合計	494	646	513	351	1,007	997

2.6 配食サービス事業(市受託事業)

令和5年度支出決算額	令和4年度支出決算額	比較増減
6,123,471円	5,325,652円	797,819円

[目的]

一人暮らしの高齢者や高齢者のみの世帯へ昼食の配達と配達時の安否確認を行い、在宅生活を支援します。

[主な事業内容・実績]

週5回、昼食の配達を行うとともに、安否確認を実施しました。

○月曜日から金曜日まで（祝日、12月29日～翌年1月3日を除く）
○利用者本人の負担は食事代実費（500円～530円）

(1) 利用実績

事業所	実利用者数(人)		延配食数(食)	
	令和5年度	令和4年度	令和5年度	令和4年度
田原	33	26	3,367	3,317
赤羽根	8	5	623	634
渥美	29	27	2,947	2,779
合計	70	58	6,937	6,730

2 7 高齢者介護予防事業(市受託事業)

令和5年度支出決算額	令和4年度支出決算額	比較増減
1,669,615円	1,637,372円	32,243円

[目的]

在宅で生活している高齢者の方が、できる限り要支援状態や要介護状態にならないように、生きがいや健康づくり活動などの介護予防事業を実施し、地域で自立した生活が確保できるように支援します。

[主な事業内容・実績]

○閉じこもり予防教室 市民館等の12会場で毎月1回開催

(1) 閉じこもり予防教室

病気や加齢又は環境の変化等による身体・精神機能の低下により、閉じこもり傾向の強い高齢者を主な対象者として、健康の維持・回復、認知症や寝たきりの予防を目的に「閉じこもり予防教室」を田原市内9校区の12会場で開催しました。

会場	開催回数(回)		実参加者数(人)		延参加者数(人)	
	5年度	4年度	5年度	4年度	5年度	4年度
野田市民館	12	12	4	11	25	52
高松市民館	12	12	7	5	57	59
赤羽根市民館	12	12	4	5	43	51
赤西公民館	12	12	3	3	21	32
若戸市民館	12	12	12	12	98	95
池尻集会場	12	11	8	10	62	63
泉市民館	12	12	3	4	36	36
和地市民館	12	12	10	9	83	76
堀切市民館	12	12	11	10	105	93
福江市民館	12	12	8	8	77	77
あつみライフランド	12	12	14	7	81	50
清田市民館	12	11	9	9	75	37
合計	144	142	93	93	763	721

◎施設・指定管理

2 8 田原福祉センター及び赤羽根福祉センターの管理運営(市受託事業)

事業名	令和5年度支出決算額	令和4年度支出決算額	比較増減
田原福祉センター 管理運営事業	37,590,018円	37,155,080円	434,938円
赤羽根福祉センター 管理運営事業	20,072,215円	18,871,000円	1,201,215円

[目的]

田原福祉センター及び赤羽根福祉センターの指定管理者として、利用者層を拡大し、高齢者・障害者等の福祉の向上、健康増進及び地域福祉の推進を図ります。

[主な事業内容・実績]

- 施設の適切な管理運営を行うとともに、地域福祉の推進を目的とした各種事業の実施を通じて市民が親しみやすい施設運営を行いました。
- サロン・ボランティアグループの活動の場としての定着化やイベントの開催など、施設の有効活用及び利用促進を図りました。
- 施設利用者の満足度やニーズ等を把握するため、アンケート調査を実施し、分析結果をもとに市民サービスの向上と経営の効率化を図りました。

決算額は前年度と比較して、赤羽根福祉センターは水道光熱費や修繕費の増加により、増額となりました。

(1) 福祉センター利用状況（延べ利用者数）

区分	田原福祉センター(人)		赤羽根福祉センター(人)	
	令和5年度	令和4年度	令和5年度	令和4年度
一般利用	15,997	10,004	-	-
会議室利用	29,808	31,788	3,212	2,919
健診等	3,182	3,286	0	0
その他※	7,696	8,389	2,946	2,930
合計	56,683	53,467	6,158	5,849

田原福祉センターの一般利用は前年度と比較して、空調機器等の不具合なく、1年間正常に開館できたことに伴い、利用者数が増加しました。

田原福祉センターの会議室利用は、前年度と比較して、各種選挙の投票所、新型コロナウイルスワクチン接種会場、福祉団体の会議等、大人数での利用が減少したに伴い、利用者数が減少しました。

※各センターのその他欄は、以下ア、イの実績を掲載

ア 田原福祉センター

「田原市社協就労移行支援事業所利用者数」1,386人

「豊川保健所田原保健分室利用者数」3,172人

「田原市地域職業相談室（ハローワーク）」3,138人

イ 赤羽根福祉センター

「生活介護事業利用者数」2,701人

「日中一時支援事業所利用者数」245人

(2) 田原福祉センターに設置されている事務所機能

田原福祉センターは、老人福祉センター機能を有するとともに市民の健康診断や予防接種などを行う場所として市民に親しまれています。

また、ボランティアグループや各種の福祉関係団体の自主的な活動を応援するため会議室の土曜日、日曜日及び夜間使用も予約制で利用可能とし、市民活動の拠点として活用されています。

ア 社会福祉法人田原市社会福祉協議会

(ア) 各種団体の事務局を担当 { P 4 (5) 各種団体支援助成 参照 }

(イ) 田原市成年後見センター

(ウ) ボランティアセンター

(エ) ふれあい相談センター (結婚相談)

(オ) 多機能型事業所田原市社協 (就労移行)

イ 豊川保健所田原保健分室

ウ 公益社団法人 田原市シルバー人材センター

エ 田原市障害者総合相談センター

オ 母子寡婦福祉会 (喫茶及び売店)

カ 田原市地域職業相談室 (ハローワーク)

(3) 赤羽根福祉センターに設置されている事務所機能紹介

ア 社会福祉法人田原市社会福祉協議会

(ア) 田原市社協あかばねケアプランセンター

(イ) 田原市社協ヘルパーステーション

(ウ) 田原市社会福祉協議会高齢者支援センター

(エ) 田原市社協生活介護事業所なのはな

(オ) 田原市社協日中一時支援事業所

イ 赤羽根デイサービスセンター(福寿園)

◎事業報告の附属明細書

令和5年度事業報告の附属明細書については、記載すべき「事業報告の内容を補足する重要な事項」に該当するものがないため、作成を省略します。